

新建ハウジング 2024年新春特集号

「工務店業況アンケート調査」

～ご協力のお願い～

日頃より新建ハウジングをお引き立ていただき、また取材活動にご協力いただきありがとうございます。
新建ハウジングは、地域工務店の応援紙の立場から、工務店の経営や家づくりに役立つような住宅産業のニュース・情報や事例を発信し、業界全体の活性化に努めております。

弊紙では2024年新春特集号（2024年1月10日号）の発行にあたり、工務店をはじめとする住宅事業者を対象に「業況アンケート調査」を実施いたします。

たくさんの皆様に業況アンケート調査にご協力いただき、2024年の住宅産業市場を占う有意義な情報をお届けしたいと考えております。

趣旨ご賢察賜りご協力くださいますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

敬具

2枚目以降（計6枚）のアンケート調査用紙の各質問項目にご回答・ご記入いただき、下のFAX番号までご送信くださいますようお願い申し上げます。

FAX 送り先 .03-3556-5526

回答期限: 12月17日⑩まで

※ なお、業況アンケート調査については、ウェブ上でもご回答いただくことができます。
下記URLを直接ご入力いただくか、右の二次元バーコードを読み取っていただき、専用ページよりご回答ください。

<https://questant.jp/q/gyokyo23-24>



ご不明な点などございましたら、以下の連絡先までお問い合わせください。

■お問い合わせ

新建新聞社 東京本社 新建ハウジング編集部
TEL:03-3556-5525 メール:post@s-housing.jp

■「業況アンケート調査」用紙ご送信先

新建ハウジング編集部 FAX: 03-3556-5526 担当: 荒井・松本

■回答される方について

[新建ハウジング]を <input type="checkbox"/> 購読している <input type="checkbox"/> 購読していない			
会社名		部署名	
役職名		氏名	様
E-mail			
年代	<input type="checkbox"/> 10代 <input type="checkbox"/> 20代 <input type="checkbox"/> 30代 <input type="checkbox"/> 40代 <input type="checkbox"/> 50代 <input type="checkbox"/> 60代 <input type="checkbox"/> 70代以上		
性別	<input type="checkbox"/> 男性 <input type="checkbox"/> 女性 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 無回答		
職種(複数可)	<input type="checkbox"/> 経営者 <input type="checkbox"/> 役員・取締役 <input type="checkbox"/> 営業 <input type="checkbox"/> 施工・現場管理 <input type="checkbox"/> 大工・職人 <input type="checkbox"/> 設計 <input type="checkbox"/> 経理・総務 <input type="checkbox"/> 広報・企画系 <input type="checkbox"/> その他()		
所在地	都・道・府・県		<input type="checkbox"/> 国外の場合はチェック
業種(複数可)	<input type="checkbox"/> 工務店 <input type="checkbox"/> 設計事務所 <input type="checkbox"/> リフォーム業 <input type="checkbox"/> 建設業 <input type="checkbox"/> 住宅メーカー <input type="checkbox"/> その他		
従業員数	<input type="checkbox"/> 1～5人 <input type="checkbox"/> 6～10人 <input type="checkbox"/> 11～30人 <input type="checkbox"/> 31～50人 <input type="checkbox"/> 51～100人 <input type="checkbox"/> 101～200人 <input type="checkbox"/> 201人以上		

■2023年の受注実績と2024年の見通しについて

Q1. 2023年(1月～12月)の新築住宅の受注棟数(契約ベース)をお選びください。

- 0棟 1～5棟 6～10棟 11～30棟 31～50棟
51～100棟 101～150棟 151～299棟 300棟以上

Q2. 2023年の新築住宅1棟あたりの平均単価(税込)を教えてください。

- 1500万円未満 1500万～2000万円未満 2000万～2500万円未満
2500万～3000万円未満 3000万～3500万円未満 3500万円以上

Q3. 2023年の新築住宅1棟あたりの「利益率」について、2022年との比較ではまるものをお選びください。

- 大幅増 やや増 変わらない やや減 大幅減

Q4. 新築住宅の受注は2022年(1月～12月)に比べて増えましたか。減りましたか。

- 増えた 変わらない 減った

Q5. Q4で「増えた」と回答された方、どれくらい増えましたか。

- 1～5棟 6～10棟 11～15棟 16～20棟 21棟以上

Q6. Q4で「減った」と回答された方、どれくらい減りましたか。

- 1～5棟 6～10棟 11～15棟 16～20棟 21棟以上

Q7. 2024年(1月～12月)の新築住宅の受注見通しは、2023年(同時期)に比べて増えますか。それとも減りますか。

増える 変わらない 減る わからない

Q8. Q7で「増える」と回答された方、どれくらい増える見通しですか。

1～5棟 6～10棟 11～15棟 16～20棟 21棟以上

Q9. Q7で「減る」と回答された方、どれくらい減る見通しですか。

1～5棟 6～10棟 11～15棟 16～20棟 21棟以上

Q10. 工事費500万円以上(税込)のリフォーム・リノベーションの2023年(1月～12月)の受注件数(契約ベース)をお選びください。

0件 1～5件 6～10件 11～30件 31～50件 51件以上

Q11. 2023年のリフォーム・リノベーション1件あたりの「利益率」について、2022年との比較であてはまるものをお選びください。

大幅増 やや増 変わらない やや減 大幅減

Q12. 工事費500万円以上(税込)のリフォーム・リノベーションの受注は2022年(1月～12月)に比べて増えましたか。減りましたか。

増えた 変わらない 減った

Q13. Q12で「増えた」と回答された方、どれくらい増えましたか。

1～5件 6～10件 11～15件 16～20件 21件以上

Q14. Q12で「減った」と回答された方、どれくらい減りましたか。

1～5件 6～10件 11～15件 16～20件 21件以上

Q15. 工事費500万円以上(税込)のリフォーム・リノベーションの2024年(1月～12月)の受注見通しは、2023年(同時期)に比べて増えますか。減りますか。

増える 変わらない 減る わからない

Q16. Q15で「増える」と回答された方、どれくらい増えますか。

1～5件 6～10件 11～15件 16～20件 21件以上

Q17. Q15で「減る」と回答された方、どれくらい減りますか。

1～5件 6～10件 11～15件 16～20件 21件以上

Q18. 2023年に非住宅(店舗や事務所、医療施設など)の案件を受注しましたか。

はい いいえ

Q19. Q18で「はい」と回答した方にお聞きします。受注した非住宅の用途(店舗、事務所、医療施設など)と件数を教えてください。

(用途： 件数：)

■ 2023年の経営環境について

Q20. 貴社の住宅価格（新築の平均単価）は、2023年の1年間でどれくらい上がりましたか。

- 5%未満 5～10%未満 10～15%未満
 15～20%未満 20%以上 上がっていない、または下がった

Q21. 資材の価格高騰の影響をどの程度受けましたか。

- かなり受けた やや受けた ほぼ受けていない

Q22. 特に価格上昇の影響が大きかった資材を、3つまでお答えください。

- コンクリート 構造材・合板 その他木材（羽柄材、造作材など） 断熱材
 金属系外装材 窯業系外装材 石膏ボード サッシ・ガラス・玄関ドア
 内装材（クロス、フローリング、造作部材など） 塗料、左官材料 給湯機
 空調・換気設備 水まわり設備（トイレ、ユニットバス、キッチンなど）
 太陽光発電システム その他（ ）

Q23. 2023年の1年間で、集客・受注状況はどう変化しましたか。

- 集客数が増え、受注も増加した 集客数は増えたが、受注にはつながらない
 集客、受注どちらも横ばいで推移 受注は維持できているが、集客数が減った
 集客数、受注どちらも減った

Q24. 2023年、特に好調だったと感じる集客チャネルを、3つまでお答えください。

- 自社ホームページ SNS（X[旧 Twitter]、Facebook、Instagramなど）
 動画（YouTube、TikTokなど） 新聞や雑誌のチラシ・広告
 ポータルサイト（SUUMOなど） 見学会・セミナー・イベント
 モデルハウス・展示場 OB顧客等からの紹介・口コミ

Q25. 集客・受注難への対策として貴社が行っている取り組みを教えてください。 ※複数回答可

- 新たな顧客層の開拓 分譲住宅の販売 規格住宅の展開
 リフォーム・リノベーション・中古住宅へのシフト 紹介受注の強化
 OB顧客へのアプローチ（メンテナンス、リフォームなど）の強化
 モデルハウス・展示場などの新設・リニューアル 集客チャネルの変更
 情報発信・広報の強化 特にない
 その他（ ）

Q26. 2023年、自社の顧客層（属性、予算など）や要望、競合他社は

どのように変化したと感じていますか。 ※複数回答可

- 予算が合わない人が増えた 年齢層が上がった 年齢層が下がった
 性能・仕様への要求が増えた、厳しくなった 値引きを要求されるようになった
 ローコスト系の住宅・会社と比較されるようになった
 ハイエンド系の住宅・会社と比較されるようになった
 リノベーションや中古住宅など新築以外を検討している人が増えた
 大きな変化は感じていない
 その他（ ）

Q27. 人材不足による経営への影響はありますか。

ある ない

Q28. Q27で「ある」と回答した方にお聞きします。

人材不足を感じる職種を教えてください。※複数回答可

設計 営業 施工・現場管理 大工・職人 広報・企画系
総務・経理 その他()

Q29. 職人が足りないと感じる職種があれば教えてください。 ※複数回答可

基礎 大工 建具 左官 電気 管(設備) 板金
内装 その他()

Q30. 社員のリスクリング(人材の再教育によって新しいスキルや能力を獲得すること)に取り組んでいますか。

すでに取り組んでいる これから取り組む予定 いずれは取り組みたい
取り組む予定はない

Q31. Q30で「すでに取り組んでいる」と回答した方にお聞きします。

取り組みの内容を具体的に教えてください。

()

Q32. Q30で「これから取り組む予定」「いずれは取り組みたい」と回答した方にお聞きします。

どのようなスキル・能力・知識を社員に身につけさせたいですか。 ※複数回答可

設計 施工・現場管理 省エネ計算・構造計算 経営・マネジメント
営業・顧客対応 マーケティング デザイン(印刷物やウェブなど)・写真・映像
文章力 ウェブ・SNS等の運用 DX その他()

Q33. Q30で「すでに取り組んでいる」「これから取り組む予定」「いずれは取り組みたい」のいずれかと回答した方にお聞きします。

社員のリスクリングにおいて、感じている課題があれば教えてください。 ※複数回答可

社員のモチベーションが上がらない リスクリングにかかる費用の負担が大きい
リスクリングのための時間を確保できない 教育方法がわからない
誰にどのようなスキル・能力・知識を会得させればいいのかわからない
社員本来の業務に効果があるかわからない その他()

Q34. 直近5年以内に事業継承を予定していますか。

はい いいえ

Q35. Q34で「はい」と回答した方にお聞きします。継承する相手は決まっていますか。

親族への継承 親族以外の社員への継承 M&A 検討中

Q36. 現在、解決したい具体的な経営課題があれば教えてください。

()

■ 2024年の経営環境について

Q37. 2024年の住宅市場・需要は2023年に比べて、どうなると予測していますか。

縮小・減少する 横ばいで推移する 拡大・増加する

(理由：)

Q38. 2024年の自社の「売上計画」(目標)について、あてはまるものをお選びください。

大幅増 やや増 変わらない やや減 大幅減

(理由：)

Q39. 2024年の自社全体の「利益」(見込)について、あてはまるものをお選びください。

大幅増 やや増 変わらない やや減 大幅減

(理由：)

Q40. 2024年に貴社が家づくりで改善・強化しようと考えていることを教えてください。

※複数回答可

設計・デザイン力 性能(断熱・耐震・耐久性など) 規格化・標準化

商品開発 施工品質 その他()

Q41. 2024年に貴社が経営面で強化しようと考えていることを教えてください。 ※複数回答可

人材育成 DX・業務効率化・生産性向上 働き方改革

SDGs・脱炭素対応 集客・情報発信 事業の多層化・多角化 事業継承

その他()

■ 法改正や社会情勢への対応について

Q42. 2024年4月から始まる建設業における労働時間・残業の上限規制への対応状況を教えてください。

対応済み 現在準備を進めている これから準備を進める

特に何もしていない

Q43. 2024年4月1日から「建築物の販売・賃貸時の省エネ性能表示制度」が始まります。注文住宅も任意でラベルを表示できます。貴社はどう対応する予定ですか。

注文住宅でも表示することを検討 分譲や買取再販では表示することを検討

表示する予定はない 制度自体を知らない

Q44. 2024年4月1日から、市町村が定めた区域内で、建築主に対し再生可能エネルギーの導入について説明義務を課す「建築物再生可能エネルギー利用促進区域制度」が始まります。貴社の対応状況を教えてください。

対応済み 現在準備を進めている これから準備を進める

特に何もしていない 制度自体を知らない

Q45. 2025年の省エネ基準適合義務化に向けた対応状況を教えてください。

対応済み 対応は進めているが問題や不安がある まだ対応していない

Q46. 省エネ計算（外皮計算や一次エネルギー消費量計算など）を外注していますか。

社内で行っている 案件によっては外注する 全て外注している

Q47. 現在の貴社の標準的な外皮（断熱）性能はどの程度ですか。

省エネ基準（断熱等級4） ZEHの強化外皮基準（断熱等級5） HEAT20・G1
HEAT20・G2（断熱等級6） HEAT20・G3（断熱等級7）以上
その他（ ）

Q48. 2025年の四号特例縮小（審査省略対象の縮小）に向けた対応状況を教えてください。

対応済み 対応は進めているが問題や不安がある まだ対応していない

Q49. 許容応力度計算などの構造計算（外注を含む）を行っていますか。

全棟で行っている 必要な案件（3階建てなど）のみ
壁量計算しかやったことがない

Q50. 2024年の住宅産業市場、経営環境はどのようになると感じているか、自社がどのような戦略をとっていくか、地域工務店がいま何をしていくべきか等々、お考えやご意見を何でも自由にお聞かせください。

～ご多忙のところご協力いただき、誠にありがとうございました！～

下記 FAX 番号まで、この回答用紙をご送信ください

FAX 送り先 .03-3556-5526

新建ハウジング編集部

担当：荒井・松本

回答期限：12月17日⑤まで